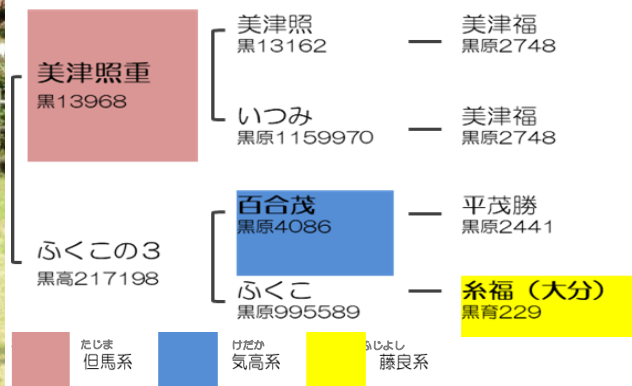


# 熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2020

## 黒毛和種雄牛「美津福重」の選抜



### 問 研究のねらいは？

答 全国に通用する優良な県産種雄牛の作出が期待されており、牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

### 問 本牛の特徴は？

答 現場後代検定では、ロース芯面積と脂肪交雑で去勢、雌ともに歴代1位を記録し、肉量肉質の両面で全国レベルの産肉能力をもつ種雄牛として、今後の活躍が期待されます。

### 【現場後代検定成績】

(単位:kg, cm<sup>2</sup>, cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(4等級以上)
去勢 9 頭	28.3	485.0	75.3	8.0	2.2	76.5	9.44	88.9% (8/9)
雌 11 頭	28.7	469.1	67.5	8.1	2.8	75.2	8.45	100.0% (11/11)

### 【産子の枝肉】



性別	去勢
枝重	513kg
ロース	81cm <sup>2</sup>
バラ厚	7.3cm
BMSNo.	11
等級	A-5

形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
枝肉重量	小さい	[Progress bar from 0 to 2]						大きい	2.04
ロース芯面積	小さい	[Progress bar from 0 to 4]						大きい	4.08
ばらの厚さ	薄い	[Progress bar from 0 to 2]						厚い	2.42
皮下脂肪	厚い	[Progress bar from 0 to -1]						薄い	-0.23
脂肪交雑	少ない	[Progress bar from 0 to 3]						多い	3.26

### 標準化育種価 (SBV) とは？

各形質の育種価を同一スケール上で比較したもの。値が+1以上の場合、改良効果が高い。

畜産研究所 生産基礎技術研究室